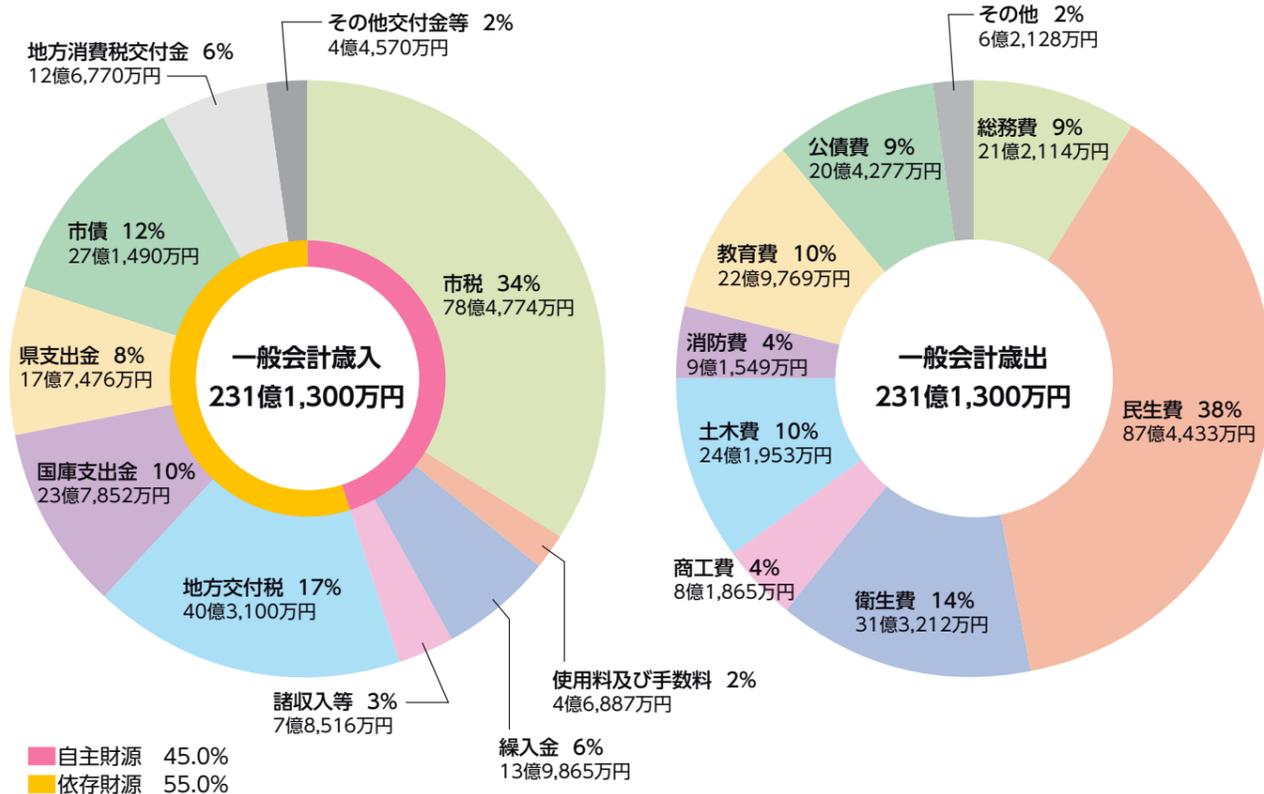


一般会計 231億1,300万円

特別会計 129億340万円

企業会計 71億9,300万円

会計名	本年度当初 予算額	前年度当初 予算額	比較		
			増減額	増減率	
一般会計	231億1,300万円	226億4,000万円	4億7,300万円	2.1%	
特別会計	国民健康保険	56億961万円	57億5,595万円	△1億4,634万円	△2.5%
	駐車場事業	4,901万円	6,456万円	△1,555万円	△24.1%
	介護保険（保険事業勘定）	63億3,347万円	61億1,218万円	2億2,129万円	3.6%
	介護保険（サービス事業勘定）	1,152万円	1,804万円	△652万円	△36.2%
	土岐市・瑞浪市介護認定審査会	4,191万円	4,180万円	11万円	0.3%
	土岐市・瑞浪市障害者総合支援認定審査会	590万円	592万円	△2万円	△0.3%
	後期高齢者医療	8億5,198万円	8億6,446万円	△1,248万円	△1.4%
	計	129億340万円	128億6,291万円	4,049万円	0.3%
企業会計	病院事業	17億4,543万円	22億5,994万円	△5億1,451万円	△22.8%
	水道事業	26億8,884万円	27億8,935万円	△1億51万円	△3.6%
	下水道事業	27億5,873万円	29億2,926万円	△1億7,053万円	△5.8%
	計	71億9,300万円	79億7,855万円	△7億8,555万円	△9.8%
合計	432億940万円	434億8,146万円	△2億7,206万円	△0.6%	



土岐市 予算概要

切れ目のない コロナ対策と 将来への投資

新型コロナウイルス感染症の拡大は今なお市民生活や地域経済に大きな影響をもたらしています。

市では、この新型コロナウイルスの感染拡大に対処するため、適時、補正予算を編成し、「感染拡大の防止」、「生活の支援」、「地域経済の支援」、「学びの保障」、「新しい生活様式」など状況に応じた対策を講じてきました。これら新型コロナウイルス対策の取り組みが切れ目なく行えるよう、また必要な時期に必要な対策が講じられるよう、新型コロナウイルス対策予算については、令和3年度当初予算と令和2年度補正予算を一体として編成しました。加えて、今後も感染状況など局面

に応じて適時適切な対策が必要となることから、令和3年度においても補正予算対応できるよう財源の確保にも努めています。

一方で、高齢化による医療や年金などの社会保障費の増大、少子化による生産年齢人口の減少や消費市場の縮小など、大きな社会的課題も迫っています。

こうした状況を踏まえ、引き続き新型コロナウイルスの感染拡大防止と地域経済活動の回復の両立を図りつつ、第6次総合計画に掲げるまちの将来像「人と自然と土が織りなす 交流文化都市」の実現に向け、支え合い安心でさる暮らしづくり、環境と調和した

にぎわいづくり、豊かな心と文化を育む人づくり、安全で快適な暮らしを支える基盤づくり、協働の仕組みづくりの5つの基本目標に沿った施策を展開します。その施策にメリハリをつけるため、市長公約である、愛着のもてるまちづくり、地域を支えるひとづくり、地域住民のいきがいづくりを3本の柱とし予算を編成しました。

重点的な取り組み

令和2年度は、「読書率の向上」と「全世代健康寿命延伸ときげんきプロジェクト」を重点施策として位置づけ、そのスタートアップの年として取り組んできました。令和3年度も引き続き

重点施策として位置づけ、「新しい生活様式」にも対応しつつ、この取り組みが定着するよう、これまでの活動をさらに加速させます。

また令和3年度からは、土岐市や美濃の歴史を深掘りした知の拠点を整備するための「文化財保存活用拠点（仮称）整備事業」、市民の健康と命を守るための「広域的な医療提供体制の確保」、国が進める「デジタル社会の実現」に呼応した取り組みなど、将来に向けた投資も行っていきます。



主要事業

愛着のもてる まちづくり

(仮称) 文化財保存活用拠点整備事業

土岐市や美濃焼の歴史を深掘りした「知の拠点」を整備するため「文化財保存活用拠点事業」を進めます。

- ・文化財保存活用拠点(仮称)整備事業基本構想作成
- ・乙塚古墳附段尻巻古墳整備事業



地域住民の いきがづくり

全世代健康寿命延伸事業 「ときげんきプロジェクト」

いつまでも健康で生きがいを持って暮らせるまちを目指し、今まで実施してきた健康づくり事業を拡充した取り組みとして「ときげんきプロジェクト」を推進していきます。

- ・健康づくり事業
- ・介護予防普及事業
- ・健康教育相談事業
- ・口腔保健事業
- ・健康診査事業



地域医療体制の確保

誰もが必要ときに安心して質の高い医療サービスを受けられるよう地域医療体制や救急医療体制の充実を図ります。

- ・東濃中部病院事務組合の設置



地域を支える ひとづくり

読書推進事業 「読書に親しむまち 土岐市」

生涯にわたり読書に親しむ環境を整備し、子どもの論理的思考や好奇心を醸成するため、教育委員会に「読書活動推進室」を設置し、「読書に親しむまち土岐市」の実現を目指します。

- ・土岐市読書推進計画に沿った講座やイベントの開催
- ・学校図書室に司書を配置
- ・電子図書館整備



泉こども園整備事業

幼稚園と保育園の両方の良さを併せ持ち、教育・保育を一体的に行う幼保連携型認定こども園「泉こども園」を建設します。



GIGAスクール構想における ICT推進事業

「学びのICT支援室」を設置し、学校におけるICTの効果的な活用や教育の情報化を図るため、支援体制を強化します。

- ・プログラミング教育用教材購入
- ・家庭オンライン学習環境整備事業
- ・学習支援ソフト導入



新型コロナウイルス感染症対策事業

新型コロナウイルス感染症対策を切れ目なく実施するため、令和2年度補正予算と令和3年度当初予算を一体として編成しています。

新型コロナウイルス感染症は依然厳しい状況で、外出自粛要請などの影響により市民の生活や地域経済に大きな影響をもたらしています。引き続きこうした状況に対処するため、次のことに取り組みます。

① 感染拡大の防止

- ・新型コロナワクチン接種事業
- ・公共施設等感染対策整備（庁舎、恵風荘、放課後教室、図書館、スポーツセンターなど）
- ・新型コロナウイルス対策支援（私立保育所、障害者就労継続支援事業所、バーデンパークSOGIなど）
- ・介護サービス事業所用使い捨て衛生用品購入
- ・救急出動用資器材整備事業（感染防止対策）

② 生活の支援

- ・子どもの学習支援事業
- ・住居確保給付金
- ・自立相談支援事業など

③ 地域経済の支援

- ・小規模事業者持続化補助金（低感染リスク型ビジネス枠）
- ・地域消費喚起事業費補助（ECサイトにおける催事補助）
- ・オープンファクトリー環境整備、PR動画制作
- ・観光拠点施設感染防止対策補助
- ・感染症拡大防止協力金
- ・どんぶりを活用したテイクアウト事業補助金

④ 学びの保障

- ・感染症対策等学校教育活動継続支援
- ・家庭オンライン学習環境整備事業
- ・小中学校インターネット回線改善事業
- ・ICT教育関連経費
- ・学習指導員、スクールサポートスタッフの設置

⑤ 新しい生活様式

- ・電子図書館整備
- ・健康遊具設置事業（保育園、公園）
- ・テレワーク環境整備実証実験、地方分散型社会の受け皿モデル構築事業



ワクチン接種訓練の様子



健康遊具で遊ぶ子どもたち